

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 9 日現在

機関番号：32616

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23401030

研究課題名(和文) 古代メソポタミア北西部における歴史考古学的研究 - シリア、テル・タバンの発掘調査 -

研究課題名(英文) Research of Historical Archaeology on the Ancient Northwestern Mesopotamia -Excavations at Tell Taban, Syria-

研究代表者

沼本 宏俊 (Numoto, Hirotoshi)

国土館大学・体育学部・教授

研究者番号：40198560

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,300,000円、(間接経費) 4,290,000円

研究成果の概要(和文)：研究期間中、シリア情勢は全く改善せず、本研究の主眼であるシリア、テル・タバンの発掘調査は実施できなかった。そのため、関連研究として同じ北メソポタミアに属すトルコ東南部とイラク北東部の遺跡踏査を実施した。トルコ東南部ではアッシリア帝国時代の遺跡並びに交通網の調査を行い、テル・タバンを取り巻く地政学的環境を明らかにした。さらに表採遺物から物質文化の類似性を確認し、今後のテル・タバンの出土遺物の研究を行ううえで貴重なデータを得ることができた。イラク北東部クルド自治区のスレイマニア県とエルビル県を訪問し、紀元前2・1千年紀の計10カ所の遺跡を視察し、大形拠点遺跡アウエナを発掘調査遺跡として選定した。

研究成果の概要(英文)：During the research period, we were not able to carry out the excavations at Tell Taban which was the main purpose of this research for civil war in Syria. Therefore, we carried out general survey at southeast Turkey and northeast Iraq both of which belong to the north Mesopotamia as a related study of this research. As for southeast Turkey, we investigated archaeological sites and transportation network of the Assyrian empire and clarified the geopolitical environment that surrounded Tell Taban. Moreover, since we confirmed similarity of the material culture from the surface collections at Assyrian sites, we were able to obtain valuable data in studying objects from Tell Taban in the future. We visited Sulaymania and Erbil prefectures of the Kurd autonomous district in northeastern Iraq for carry out archaeological survey. We surveyed 10 sites which belong to 2nd-1st millennium B.C. and chose one of the large base sites i.e. "Tell Awena" as a excavation site in the future.

研究分野：人文学 B

科研費の分科・細目：考古学

キーワード：考古学 アッシリア 粘土板文書 楔形文字 シリア テル・タバンの発掘調査 メソポタミア 中期アッシリア

## 1. 研究開始当初の背景

人類最古の都市文明が栄えた古代メソポタミア世界の研究は、19世紀以来、ティグリス・ユーフラテス両河の流域に位置する諸遺跡の調査を中心に進展してきた。メソポタミア北西部を流れユーフラテス川に合流するハブール川の流域は、北東メソポタミア(ティグリス川流域)とユーフラテス川中流域を結ぶ回廊として歴史的に重要な役割を果たしたにもかかわらず、メソポタミア文明地域の周辺と見なされ、当初大きな注目を集めなかった。

1997年、国土舘大学発掘調査隊は、当該地域における最大規模の遺跡であるテル・タバンの発掘調査を開始し71点の中期アッシリア時代楔形文字文書(土製円筒碑文、焼成レンガ碑文など)が出土し、テル・タバンの古代の同流域の拠点タベトゥ市であることが明らかになった。その後、2005～10年の発掘調査により、さらに前18世紀にさかのぼる連続した層序が確認されたうえ、さらに約430点の様々な楔形文字文書が出土した。これらの文書の研究により、前2千年紀の異なる時期におけるタベトゥ市をめぐる歴史と文化が明らかになってきた。テル・タバン発掘調査は、前2千年紀のハブール川流域を中心とする北西メソポタミアの歴史と文化の解明のために決定的重要性を持つ考古学的・文献学的データをもたらしてきた。本研究は、3年間の研究期間中、同遺跡の調査と研究を継続して更なる新資料の発見と当該地域の歴史考古学的諸相の体系的把握を目指すものである。

## 2. 研究の目的

1997年から2010年までシリア北東部ハブール川中流域のテル・タバン遺跡において行われてきた国土舘大学の発掘調査は、前3千年紀末から前1千年紀半ばまでの連続した層序を確認し、約500点におよぶ楔形文字文書を発見して国際的な注目を集めてきた。本研

究は、当該地域の標準遺跡として古代メソポタミア北西部の歴史と文化の解明に決定的情報をもたらす同遺跡の調査をより体系的に進め、文字資料を含むさらなる考古資料を発見して、ダム建設による水没地域に位置し損失の危機にさらされる最重要の文化遺産を速やかに救済・記録するものである。さらに、考古資料と文書資料を相互補完的に用いて、特に前2千年紀初頭から前1千年紀半ばにかけての文化編年を確立し、当該地域の歴史考古学的諸相を明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究の方法

当初は、本研究の主眼であるシリアのテル・タバン遺跡の発掘調査と楔形文字資料の研究調査を実施する予定であった。しかし、2011年3月から始まったシリア国内の政情不安は、全く好転する気配がなく、研究期間中の本研究の中核であるテル・タバン遺跡の発掘調査の実施は不可能であった。したがって、研究期間中の現地調査は、関連研究として同遺跡と同一文化圏に属すトルコ東南部とイラク北東部に移し、同地域内にある遺跡の踏査を実施した。テル・タバンのあるシリア北東部と両地域は同じ北メソポタミアに属し、これらの地域では先史時代から近代に至るまで同一文化が存続し、本研究課題遂行の主眼とするアッシリア帝国時代(前2千年～1千年紀)の遺跡も多数認められ、同時代の拠点都市テル・タバンの歴史・文化的関連の究明や蓄積した研究成果をより深化させるうえで格好の地域である。特にテル・タバンと関連性が高い前2千年紀初頭から前1千年紀の歴史時代の生活層を包含する遺跡群の踏査を実施した。

## 4. 研究成果

### (1) トルコ東南部の遺跡調査。

テル・タバンの北部に隣接するトルコ南東部の遺跡を調査することとした。調査の目的は、

古代のタバトゥム/タベトゥ(テル・タバンの遺跡)を取り巻く地政学的環境を明らかにすることである。より具体的には、(1)テル・タバンの北に広がるいわゆるハブル(メソポタミア)平原をのぞむトゥル・アブディンの山岳地帯とチグリス上流域の考古学的環境とテル・タバン周辺の物質文化の近似性と相違を考察すること、ならびに(2)前2千年紀半ばからアッシリア王国の広域支配の一部にあったテル・タバンの地政学的環境を正しく把握すべく、ハブル川の北を東西に走るアッシリアの行軍・交易ルートのシステムを理解することである。

以上のような目的のため、2012年9月と2013年3月に合計20日程度、遺跡並びに交通網の調査を行った。ルートは以下の通り：

第1回調査(2012年9月): アダナ - カラテペ - ジンシルリ - ガジアンテップ - マラシュ - マラトヤ - デレンデ - ギュルン - キュルテペ - カイセリ - ネベシェヒル - シリシアンゲイト - タルス - アダナ。

第2回調査(2013年3月): ディヤルバクル - マルディン - オルタキョイ - ダラー - ヌササイビン - ギルナバス - ミディヤット - デリチ - サウル - ジヤラトテペ - ディクテペ - ケナンテペ - ギリジャーノ - ギルディムス - サラットテペ - ハッサンケーフヒュク - ウチテペ - エスキディヤルバクル - エルガミ - エルガミマディン - ディヤルバクル

2013年5月、2014年3月には計20日程同地域内のハブル上流域、バリフ川上流域に所在する下記の遺跡踏査を度実施した。ハブル上流域(マルディン県:キジルテペ、オルタキョイ、ディクメン、カタルヒュク、ビュクテペ等)、バリフ川上流域(ウルファ県:ギョベクリテペ、スルタンテペ、ハガネヒュク、ハラン等)、チグリス川上流域(ディヤルバクル県:ピルフセイン、シズレ県)

上記地域内の遺跡並びに交通網の調査を

行い、アッシリア帝国時代(前2千年~1千年紀)の遺跡を多数確認し、テル・タバンの遺跡を取り巻く地政治学的環境を明らかにした。さらに表採遺物から物質文化の類似生を確認し、今後のテル・タバン出土遺物の研究を行ううえで貴重なデータを得ることができた。これらの調査を通してテル・タバン周辺(ハブル流域)とトゥル・アブディン南部の山麓地域の物質文化の際立った近似性、ならびに前者とティグリス川上流地域との物質文化上の距離感が確認されると同時に、アッシリアの西方拡大のロジスティックスについての地理的・環境的理解を深めることができ、今後のテル・タバン出土遺物の研究に向けて有用なデータが蓄積された。

(2)イラク北東部、クルディスタンの遺跡調査。

2013年11月初旬から二週間、研究代表者と分担者2名がイラク北東部クルド自治区のスレイマニア県とエルビル県を訪問し、遺跡と調査状況を視察した。

クルディスタンは、ザグロス山麓からメソポタミア平原へつながる要衝地として繁栄し、先史時代から歴史時代にかけての多くの重要拠点遺跡が存在する。しかし、大半の重要遺跡は未調査のため、現地考古局関係者は外国隊による早急な発掘調査を積極的に要請している。現地の治安も安定しており、近年、欧米隊の発掘調査が年を追うごとに急増している。

我々は本研究の主眼とする紀元前2・1千年紀に焦点を当てて計10カ所の遺跡(スレイマニア県:ヤシン・テペ、バクルアワ、シャムシャラ、バスマシアン、エルビル県:バーシテペ、ソルバシュ、プシャルグル、カスルシマムーク、アウェナ、サトカラ)を視察し、さらに考古局長、大学考古学部長らと将来の発掘計画に関する打ち合わせを行った。視察遺跡の中でスレイマニア県ではシャフリゾル盆地最大の遺跡ヤシン・テペと、エル

ビル県では南西部のアッシリア帝国の拠点大形遺跡アウエナを発掘調査候補遺跡として現地考古庁に申請した。

(3) (国内での研究) 国内に保管しているテル・タバンの調査で出土した古バビロニア時代～新アッシリア時代の約 3000 点の土器片の実測図化、観察、トレース、写真撮影、データベース化を行った。2005～10 年度の調査で出土した楔形文字資料については、研究分担者の山田と柴田が、写真とコピーを元に大学院生の補助者とともに記録と解読にあたった。

(4) (調査・研究成果の報告) テル・タバン出土古バビロニア文書と中期アッシリア文書の解読と編纂、テル・タバン文書に基づいた古バビロニア時代(前 18 世紀) 中期アッシリア時代(前 13～11 世紀) の北メソポタミアの歴史と社会に関する研究、その成果となる学術論文を作成中である。2005～10 年度の発掘調査報告書の刊行に向けての準備(図面、原稿、版下作成等)を行った。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 11 件)

- 1) S. Yamada (2014) “Inscriptions of Tiglath-pileser III: Stylistic-Historiographic Features and Their Historical Background”, *Orient: Reports of the Society for Near Eastern Studies in Japan* 49, pp.31-50【査読有】
- 2) S. Yamada (2014) “Review Article : Olivier Rouault, *Terqa Final Report 2 : Les textes des saisons 5 a 9*”, *Bibliotheca Mesopotamia*, Volume 29, Malibu: Undena publications, 2011, ZA 104/1【査読有】DOI: 10.1515/zava.1894.9.1.42
- 3) H. Numoto, D. Shibata & S. Yamada (2013) “Excavations at Tell Taban: Continuity and Transition in Local Traditions at

Ṭābatum/Ṭābetu during the Second Millennium B.C.”, in: D. Bonatz and L. Martin (eds), *100 Jahre archäologische Feldforschung in Nordost-Syrien*, Schriften der Max Freiherr von Oppenheim-Stiftung 18, Harrassowitz Verlag: Wiesbaden, pp. 167-179【査読有】

4) S. Yamada (2012) “The City of Ṭābatum and Its Surroundings: The Organization of Power in the Post-Hammurabi Period”, in G. Wilhelm (ed.), *Organisation, Representation, and Symbols of Power in the Ancient Near East*, Eisenbrauns: Winona Lake, pp. 589-600【査読有】

5) D. Shibata (2012) “Local Power in the Middle Assyrian Period: The “Kings of the Land of Māri” in the Middle Habur Region”, in G. Wilhelm (ed.), *Organization, Representation, and Symbols of Power in the Ancient Near East*, Eisenbrauns: Winona Lake, pp. 489-505【査読有】

[学会発表](計 12 件)

- 1) 沼本宏俊 「クルディスタン(スレマニア、エルビル)の遺跡踏査」第 56 回シュメール研究会、筑波大学、2013 年 11 月 17 日
- 2) 柴田大輔 “Assyrian Princesses in the Land of Māri”, Symposium: Understanding Hegemonic Practices of the Early Assyrian Empire, University of Leiden, (招待講演)ライデン大学、2013 年 3 月 15-16 日
- 3) 山田重郎 “Two Hana-style contracts from Tell Taban and its historical implications”, Institute fuer Assyriologie und Hethitologie, University of Munchen Institute fuer Assyriologie und Hethitologie, University of Munchen, (招待講演)ドイツ、ミュンヘン大学、2012 年 1 月 31 日
- 4) 山田重郎 “Old Babylonian Texts

from Tell Taban and the City of Tabatum  
in the Post-Hammurabi Period”  
Seminar fuer Sprachen und Kulturen des  
Vorderen Orients, Assyriologie,  
University of Heidelberg(招待講演)  
ドイツ、ハイデルベルク大学、2012年1  
月24日

5)柴田大輔、山田重郎、沼本宏俊

“Continuity and Tradition of Local  
Tradition at Tabatum/Tabetu (Tell Taban)  
during the second millennium BC” 100  
Jahre archäologische Feldforschungen in  
Nordost-Syrien - Eine Bilanz, Pergamon  
Museum, Berlin ドイツ、ベルリン、ベルガ  
モン博物館、2011年7月22日

6. 研究組織

(1)研究代表者

沼本 宏俊 (Numoto Hirotooshi) 国土館大  
学・体育学部・教授  
研究者番号：40198560

(2)研究分担者

山田 重郎 (Yamada Shigeo) 筑波大学・人  
文社会学研究科・教授  
研究者番号：30323223

柴田 大輔 (Shibata Daisuke) 筑波大学・  
人文社会学研究科・准教授  
研究者番号：40553293

(3)連携研究者

久米 正吾 (Kume Syogo) 独立法人国立文  
化財機構東京文化財研究所  
・文化遺産国際協力センター・  
アソシエイトフェロー  
研究者番号：3055077

西山 伸一 (Nishiyama Shinichi) 中部大学・  
国際関係学部・准教授  
研究者番号：50392551

谷口 陽子 (Taniguchi Yoko) 筑波大学・  
人文社会学研究科・准教授  
研究者番号：40392550